

教育目標 考えて行動する子 思いやりのある子 きたえる子

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。この度は、12月の学校評価アンケートのご協力、ありがとうございました。皆様の学校へのご関心、ご期待の程を感じ、今後とも改善を続け、より良い教育活動が展開できるよう、努力してまいります。また、皆様方からのご要望は、校内で十分に検討してまいります。引き続きご協力の程、よろしくお願いいたします。

I アンケート集計結果について （回答数 253/482名 回答率 52.4%）

※思う:よく思う・だいたい思う 思わない:すこし思わない・思わない

項目	思う (%)	思わない (%)	分からない (%)
Q1.不審者・災害対策、安全指導など、子供の安全確保のための対策がとられている。	87	9	4
様々な災害や不審者等の危険な場面を想定し、毎月の避難訓練や安全指導を計画的に実施しております。また、6月28日（土）には、地域の皆様や保護者の皆様のご協力をいただき、第2回総合防災避難訓練を実施いたしました。さらに、消防士の方による救命講習会の実施や、月1回の校内安全点検を継続的に行っております。今回のアンケート結果から、多くの保護者の皆様に本校の安全への取組をご評価いただいている一方で、取組の内容が十分に伝わっていないと感じられている方もいらっしゃる事が分かりました。今後は、安全指導や訓練の様子を学校だよりやホームページ等でより分かりやすく発信するとともに、訓練内容の充実や指導方法の改善にも努め、職員一同、子供たちの大切な命を守る取組を一層推進してまいります。			
Q2.学校施設、教室環境など安全で学びやすい環境が整っている。	89	9	2
学校施設や教室環境については、多くの保護者の皆様から肯定的なご意見をいただきました。本校では、毎月の校内安全点検を継続して行うとともに、教室等の照明のLED化工事を完了するなど、安全で安心して学べる環境整備に取り組んでおります。また、児童が学習に集中できるよう、黒板周りには必要以上の掲示物を掲示しないなど、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備を昨年度より進めてきました。一方で、児童の感じ方や学習内容によって、環境面の工夫にさらなる改善の余地があることも踏まえ、今後は各学年・各教科において児童の実態をより丁寧に把握しながら、安全性と学習効果の両面を意識した環境づくりを進めてまいります。			
Q3生活アンケートや個別面談（担任やスクールカウンセラー等と児童）など、いじめや問題行動に対して適切な指導が行われている。	77	8	15
毎月、生活アンケートをとり、困ったことや不安がないかなどの聞き取りを行い、必要な指導を行うようにしています。困ったことや不安なことがある時には、学級や学年の先生でなくても、保健室の先生、SCや管理職などだれでも相談してよいことを全校朝会などで伝えています。また、未然防止のために、道徳科などの学習で、よりよい学校生活の充実、集団生活の充実について学び合える機会を定期的に設けています。その他にもタブレットPCに相談ができるサイトの情報を掲載したり、長期休みの前後に不安がないかを聞くようにしたりして、児童が悩みや不安を一人で抱え込まない環境づくりに努めています。児童や保護者から相談があった場合に校内の関係者で情報を共有し、職員が連携して迅速に対応を行うようにしています。今後も児童が安心して学校生活を送ることができるように対応してまいります。			

項目	思う (%)	思わない (%)	分らない (%)
Q4.効果や価値のある指導(ICT活用等)を随時取り入れ、新しい時代に必要な資質を育成している。	75	13	12
Q20.保護者や地域の教育力を活用した教育活動が行われている。	85	5	10
Q4 につきましては、前期より低下していること、「分らない」との回答数が変わらないことから、教育活動の内容や成果をより分かりやすく発信していく必要があると考えます。ICTの活用に関しましては、1 月より新しい機器が導入され、学習活動における一層の活用が期待されます。他の学習用具や教科書、資料等と同様に、適切に、効果的に使用するスキルを身に付けられるようにしていくことは必須です。発達段階に応じた指導を計画、実践していけるよう努めてまいります。 2学期も多くの保護者や地域の皆様にご協力いただきながら、子供たちのニーズや実態に応じて、人・場所・ものを効果的につなげた教育活動を推進することができました。今後もコミュニティ・スクールとして、引き続き充実を図るとともに、発信を重点的にを行い、ご理解、ご協力をいただけるように継続してまいります。			
Q5.基礎・基本の学力の定着を図り(校内研究の推進、東京ベーシックドリルの結果をもとにした)、学ぶ楽しさを味わう授業、よくわかる授業が行われている。	75	8	17
東京ベーシックドリルの結果を分析することで、重点課題を共有しています。漢字や計算など、基礎・基本となる学習を朝学習や九九検定などを計画して実施することで、全員が一定のスキルを身に付けられるよう継続して取り組んでいます。子供たちが楽しく、意欲的に学習できるようにすること、基礎的な学習内容、学習習慣を身に付けられるようにすることは両輪であり、どちらも必要なものです。引き続き、子供たちの興味関心等、実態を把握して効果的な教材を検討するなど、授業改善に取り組んでまいります。基礎・基本の定着のためには、繰り返し取り組むことも必要です。特に算数は、学年だけでなく单元ごとに学習内容が積み重なっていく特性が高い教科です。例えば、たし算・ひき算の繰り上がり・繰り下がりや九九が定着していないと、わり算ができず困ることになります。その学年で学習する内容が確実に身に付くためには、お子さんが粘り強く取り組めるよう、ご家庭の支援が必要です。「宿題」以外にも、習った漢字を日頃から使って書くことだけでなく、正しい言葉や多くの語彙にふれることはお子様の語彙力の向上につながるため、ご家庭での会話や読書環境を意識して整えることも大切です。家庭学習での取組にご協力をお願いします。			
Q6.子供のよさを認め励ます指導、個別最適な指導、最後までやりぬく指導が行われている。	80	11	9
昨年度より、西東京市立学校教育研究奨励事業の研究奨励指定校を受け、子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を研究の中心に据え、研究授業や日常の授業実践を積み重ねてきました。今年度は、11月27日(木)に市内・都内の先生方に授業を公開し、いただいたご意見を基に、さらなる授業改善につなげております。今回のアンケート結果から、一定の評価をいただく一方で、取組の成果が十分に実感しにくい面もあることがうかがえました。今後は、児童一人一人が自分のよさや強みを発揮できる場面をより意図的に設定するとともに、学習の見通しや振り返りを大切にした单元構成を工夫し、最後までやりぬく力の育成につながる指導を一層充実させてまいります。			
Q7.話をよく聞き、自分の考えをすすんで発表できる態度や力を養うための指導が行われている。	80	10	10
自分の考えをもつことができるよう、題材や発問を工夫するとともに、児童が自ら発言したり、考えを交流したくなったりする場面を意図的に設けてきました。また、相手の話を「何を伝えたいのか」を意識しながら聞くことや、友達との意見交流を通して自分の考えが広がったと実感できるよう、日々の指導を行っております。アンケート結果を踏まえ、今後は、発表の機会を増やすだけでなく、聞き方や伝え方の指導をより丁寧に行い、安心して自分の考えを表現できる学級づくりを進めてまいります。話す・聞く活動の質を高めることで、児童一人一人が主体的に学びに向かう力の育成を目指します。			
Q8.朝読書や読み聞かせ、読書旬間を通して、すすんで読書に親しむ態度が養われている。	78	11	11
朝読書や読み聞かせに加え、「ヤギサワ秋の本祭り」期間中には読書ビンゴや先生おすすめ本の掲示、全校朝会での本や図書室利用に関するクイズなどを行い、児童が楽しみながら本に親しめる機会を設けてきました。その一方で、読書量や関心には個人差があり、家庭での読書の状況も様々であると捉えています。今後も学校での取り組みを充実させるとともに、ご家庭での声掛けや見守りと連携しながら、読書に親しむ態度の育成を進めていきます。			

項目	思う (%)	思わない (%)	分らない (%)
Q9.道徳の時間をはじめ、さまざまな指導を通して心の教育の充実が図られている。	86	6	8
児童が様々な立場に立ったり、今後の生活への活かし方を考えたりする時間を大切にすることを継続してまいります。また、教員の道徳の授業改善もさらに努めてまいります。学校・保護者・地域の力を合わせて児童の豊かな心を育ていけるよう、今後ともご協力をお願いいたします。			
Q10.たてわり班活動等を通して異学年の交流が効果的に行われている。	90	4	6
今年度は月に一度程度のたてわり班活動に加え、全校遠足や50周年記念集会でも、たてわり班の友達と楽しく遊んだり、力を合わせてクイズや課題に挑戦したりしました。今後も「たてわり班活動」を充実させ、異年齢集団で協力する楽しさや大切さを実感するとともに、高学年児童にはリーダーとしての意識向上を図ってまいります。			
Q11.心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導が行われている。	77	14	9
挨拶に関しては学期ごとに目標を設定し、学級に掲示をして指導を行っています。代表委員会が中心となって行っている挨拶運動でも、回を重ねるごとに気持ちのよい挨拶ができる児童が増えてきています。特に今年度は、周年行事や研究発表会が行われ、多くの来賓、来客をお招きしました。その時期には、生活目標に「挨拶」を重点的に掲げ、全校で取り組み成果をあげました。丁寧な言葉遣いについては、学校生活のルールにも記載し、日常的な指導を行っています。一方で、言葉の使い方は、学校だけでなく、家庭での会話や大人の話し方から大きな影響を受けます。大人が丁寧で思いやりのある言葉を使い、手本を示す、また乱暴な言葉を使ってしまったときには、なぜよくないのかを一緒に考えるなど、学校と家庭が同じ方向を向いて言葉の大切さを伝えていくことで、児童は安心して自分の思いを表現し、互いを尊重する力を身に付けていくと考えています。			
Q12.集団生活での細かなルールを守り友達と協力して活動している。	89	6	5
学びと生活と遊び、タブレット、SNSに関する柳沢スタンダードを基に、学校全体で共通のルールを周知し、指導しております。教職員全体で共通ルールを定期的に確認し、徹底を図っております。集団生活における人との関わり方について、ご家庭でもぜひお子様と話し合っていただければと思います。			
Q13.お子様は、友達と仲良くしている。	93	4	3
学期はじめのスタートアップ期間や毎月の生活アンケートをはじめ、子供たちが教員やスクールカウンセラーに相談しやすい雰囲気づくりに努めてきました。子供がアンケートに書いたことは教員が一つ一つ丁寧に対応し、相手が嫌だと思うことは絶対にさせない指導を行い、トラブルが起きた際には、組織対応で迅速に聞き取り、善処に努めています。また、お子様の学校での様子について共有したいことは学校便りやホームページ、学年・学級だより、そして保護者の方に電話や連絡帳等でお伝えしてきました。今後も思いやりの気持ちをもって生活できる児童を育てていきます。ご家庭でも、日頃からお子様の話に耳を傾けていただき、心配なことがありましたら学校にお知らせください。			
Q14.お子様は、相手の目を見て挨拶している。	68	25	7
昨年度から引き続き「自ら挨拶すること」が課題であると児童からも声があがっています。登下校を見守ってくださる皆様やスクールガードの方々、校内整備をしてくださる用務員さん、校内で出会う方々に、気持ちのよい挨拶をしようと、あいさつ目標と共に日々伝えているところです。2学期は、代表委員会による挨拶運動の他、行事に際した挨拶強化月間を通して具体的な目標を掲げ、さらに自己評価を試み改善を図って参りました。また、挨拶の習慣は、学校だけでなく、家庭や地域での関わりの中でこそ、より確かなものになると考えております。引き続き、教職員が率先して挨拶を広げていこうと思いますが、保護者の皆様も、ぜひ手本となってください。我々大人が自然に挨拶をする姿を見ることで、児童は「挨拶は当たり前のこと」「気持ちの良いものだ」という意識を身に付けていくと考えています。			
Q15.保健指導や体育授業等を通して健康な身体づくりに取り組まれている。	91	5	4
Q17.お子様は、すすんで運動に取り組んでいる。	71	25	4
寒くなってきていることもあるためか、前期と比較すると休み時間に教室の中で静かに過ごすお子様の姿が多く見受けられます。体育の授業では、運動量の確保だけでなく、「もっとできるようになりたい。」「体を動かすことは楽しい」と感じられるような指導を継続していきます。また3学期は、より一層寒さが増す時期になりますが、お子様が意欲的に体育や休み時間に体を動かすことができるよう取り組んでまいります。 保健指導では、各学年の実態に合わせた指導を行い、身近な生活の健康・安全面についての理解を深め、学んだことを自分の課題に応じて実践することができるよう努めてまいります。			

項目	思う (%)	思わない (%)	分からない (%)
Q16.「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣化するように指導が行われている。	77	10	13
今年度は4～6年生は6月に「生活カード」「メディアコントロールチャレンジ週間」を、1～3年生は「夏休みけんこうカード」の取組を実施しました。3学期にも保健指導を行う予定です。早起きをするためには早く寝て、睡眠時間を確保する必要があります。やりたいこと、やらなければいけないことの優先順位をつけて、子供たちが自分で生活をコントロールできるようにすることが大切です。学校生活を充実させるためにも、しっかり睡眠をとり、体を休ませ、朝ごはんでエネルギーを補給することを自ら進んで行う児童の育成を目指して、今後ともご家庭と連携を図ってまいります。			
Q18.学校公開、行事、学校だより、学年だより、ホームページ等を通して学校の様子が伝えられている。	89	10	1
「思う」との回答が約9割と高く、多くの保護者の皆様に学校の様子が伝わっていることを大変ありがたく受け止めております。1学期には運動会や総合避難所訓練を実施し、子供たちの活動の様子をご覧いただく機会を設けました。2学期には9月に道德授業地区公開講座を行い、その後、開校50周年記念式典や研究発表会を実施しました。3学期には、1月の学校公開、2月の学習発表会を予定しております。また、学校からのお知らせは主に「すぐー」を通して配信しており、校外学習などの際には、できるだけタイムリーに子供たちの活動の様子をお伝えするよう努めています。今後も、行事や日常の教育活動の様子が分かりやすく伝わるよう、情報発信の内容や方法を工夫し、保護者の皆様とのつながりを大切にまいります。			
Q19.保護者の思いや意見を受け止め、適切に対応している。	80	11	9
学校では、行事ごとに保護者アンケートを実施し、いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に生かすよう努めております。すべてのご意見をそのまま教育活動に反映することが難しい場合もありますが、子供たちの成長にとって大切な視点については、可能な範囲で積極的に取り入れていく方針です。また、保護者と学校が「共育」の関係を築いていくため、昨年度より個人面談を通常級は年2回、みどり学級は年3回実施し、お子様の学習や生活の様子を直接お伝えするとともに、ご家庭での様子や保護者の皆様の思いを伺う機会を増やしています。アンケート結果を踏まえ、今後も保護者の皆様が相談しやすい体制づくりを大切に、お子様についてご心配な点がございましたら、学校評価アンケートや個人面談に限らず、いつでも学校にお声掛けいただけるよう努めてまいります。教職員一同、「チーム柳沢」として、よりよい解決に向けて組織的に対応してまいります。			

2. 自由記述欄の内容について

自由記述欄には、保護者の皆様から様々なご意見をいただきました。学校への感謝のお気持ちや教職員を気遣うお言葉もたくさんお寄せいただきました。心よりお礼申し上げます。特に多くの方からいただいたご質問やご意見を中心に、回答いたします。今後もお気付きの点やお困りのことがございましたら、いつでも学校にご相談いただけますよう、お願い申し上げます。

保健室利用時の対応について

保健室では児童が怪我や体調不良で来室した場合、児童の健康状態や緊急性を最優先に対応しております。本校では児童の安全を最優先に考えているため、児童が帰宅した後の様子の確認が必要な場合や医師の診断が必要と判断した場合には保護者へ連絡をさせていただいております。また、発熱だけでなく、顔色や倦怠感、痛みの訴えなど総合的に判断し、症状の悪化や回復の遅れ、感染症拡大を防止の観点から保護者の方にお迎えをお願いする場合があります。

なお、学校では日頃から多くの児童が保健室に来室するため、保健室では一時的に休養することはできませんが、長時間にわたり安静や経過観察を行うことはできません。保護者の皆様におかれましては、ご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

お子さんの学校での様子について詳しく知りたい場合は、学校までご連絡ください。引き続き児童が安心して休養できる環境づくりに努めてまいります。

学校公開による授業公開について 日頃の授業を参観したい。

学校公開は日常の授業の他に学校全体の教育活動や行事、特色ある取組についても知っていただく機会として、位置付けております。そのため年間計画作成時には、例年、1・2学期には学校行事を中心に、3学期には通常の授業公開を設定しております。

今後は、学習ボランティアとして保護者の皆様に来校していただき、子供たちの学習のサポートをしていただきながら、お子さんの学ぶ姿をご覧いただいたり、「開かれた学校」として日頃から授業を参観していただく期間を設けたりと、日頃の授業を見ていただく時間と、学校全体の活動を知っていただく時間とのバランスについて、より工夫ができるように検討してまいります。